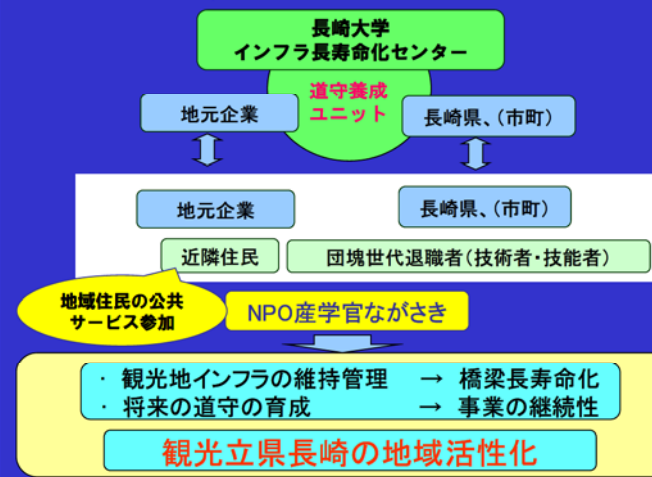


観光ナガサキを支える

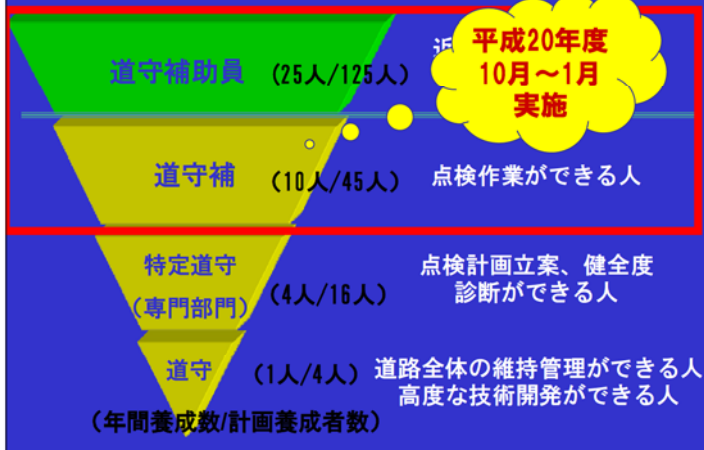
みちもり “道守”養成ユニットの紹介

長崎大学工学部インフラ長寿命化センター 西山 愛弓
 長崎県土木部 田崎 智
 長崎大学 出水 享、森田 千尋、中村 聖三、上阪 康雄、松田 浩

地域再生人材創出構想の内容



道守の構成



道守補養成コース

- 募集 ホームページ掲載、パンフレット配布、建設業協会、測量設計業協会、長崎県へ参加協力依頼
- 受講生 25名 応募 41名 (募集人員:10名) 建設業:11名、コンサル:11名、県職員:2名、その他:1名
- 講座
 - 実施時期 平成20年10月31日～平成20年12月19日
 - 毎週金曜日13:00～18:00 <<8日間 39コマ>>
 - 講義会場 長崎大学
 - 受講料 無料
- 講師 民間技術者(産)、県職員(官)、大学の職員(学)

講義風景



コンクリート構造物 点検演習

- 【演習項目】
- ①打音検査
 - ②リバウンドハンマー
 - ③中性化ドリル、コア法
 - ④コア採取
 - ⑤鉄筋探査 (電磁波レーダ法・電磁誘導法)
 - ⑥超音波法
 - ⑦レーザー距離計
 - ⑧自然電位測定



鋼構造物 点検演習

【演習項目】

- ①浸透探傷試験
- ②渦流探傷試験
- ③インピーダンス測定
- ④塗膜厚測定



点検実習



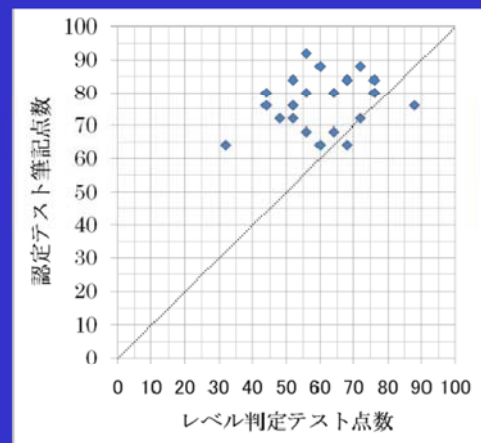
レベル判定テスト、認定テスト

■レベル判定テスト(講義開始前に抜き打ちで)
2級技術者(土木学会)レベル

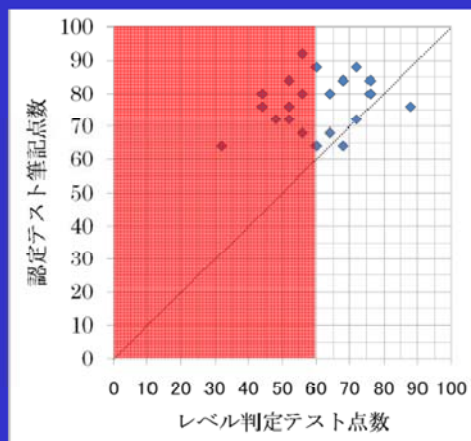
■認定テスト(12月26日)
講義テキストから出題
(コンクリート診断士レベル
鋼構造物診断士レベル)



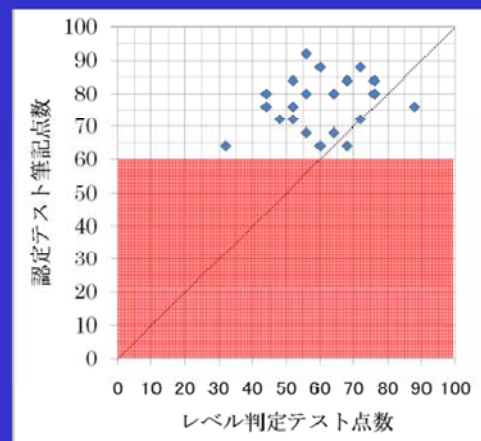
受講前後の成績比較



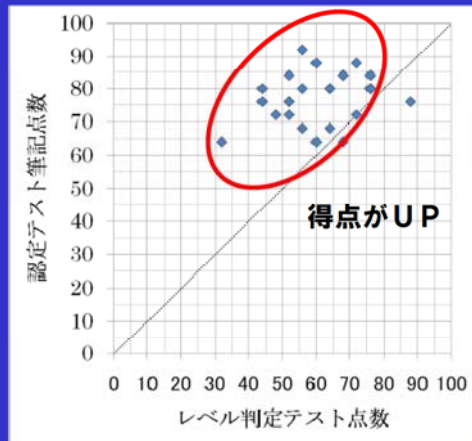
受講前後の成績比較



受講前後の成績比較



受講前後の成績比較



道守補助員養成コース

- 募集 ホームページ掲載、パンフレット配布
県を通じてアダプト、愛護団体への参加協力依頼
- 受講生 31名 応募者 34名 (募集人員: 25名)
長崎: 7名、佐世保: 17名、下五島: 7名
(愛護団体、アダプト29名、一般市民2名)
- 講座について
 講義会場 長崎会場(長崎大学)、佐世保会場(県北振興局)、
下五島会場(五島地方局)
9:30~16:10 1日間 <<授業6コマ>>
受講料 無料
- 講師 民間技術者(産)、県職員(官)、大学の職員(学)

点検実習



確認テスト



今年度のまとめ

■道守補養成コース

- ・点検演習や現場実習は普段なかなか体験できない経験ができたこと好評だった。
- ・講義内容が橋梁に偏りすぎたため、道路・斜面・舗装の維持管理の講義を取り入れる。
- ・講義が一方向的になりがちだったため、受講生主体の講義を取り入れる。

■道守補助員養成コース

- ・受講対象者は一般市民を想定していたが、実際は建設業者やコンサルタントに所属する資格を所有する専門家の方が大半を占めたため、広報誌・新聞・テレビ等での募集も行ない、アダプトや市町村の自治会等へも積極的に参加を要請する。

今後の目標

- ・来年度以降は「特定道守」「道守」といった専門性の高いコースも開講されるため、演習や研究開発にも取り組む。
- ・将来的には道だけでなく生活に必要不可欠な水・海・山・川・森に関するあらゆる社会基盤を守る人材を育成していく。